



## ハイライト

- 1月14日、東京交通会館において、「沖縄移住相談会(島ぐらし編)」を開催、1月15日、東京ビックサイトにおいて、「JOIN移住・交流フェア」が開催されました。
- 竹富町の移住・定住促進へ向けた取組みについて紹介します。

## 沖縄移住相談会(島ぐらし編) & JOIN移住・交流フェアへ出展



沖縄移住相談会 東京交通会館 8 階 (ふるさと回帰支援センター)



座談会の様子

1月14日(土)「沖縄移住相談会(島ぐらし編)」を東京交通会館で開催し、石垣市、うるま市、竹富町、沖縄県の4ブースが出展し、32組40名の方が移住相談に訪れました。

11月の「沖縄移住相談会」から座談会方式を取り入れて開催していますが、11月の平日とは異なり、今回は土曜日開催ということもあり、セミナー、座談会ともに多くの方が訪れていました。当日飛び入りの参加も8組あり、セミナーは用意した椅子が足りないほど盛況でした。

また、1月15日(日)は「JOIN移住・交流フェア」が東京ビックサイトで開催され、前日に引き続き石垣市、うるま市、竹富町、沖縄県の4ブースが出展し、延べ64組が沖縄県・市町村ブースに会場しました。

開場直後はブースの空きがありました、その後



JOIN 移住・交流フェアの様子

は終了時間まで各ブースともに相談者で埋まっている状況が続きました。特に小さいお子さんと一緒の家族連れの移住相談が目立ちました。

相談者からは仕事や住居(家賃相場)、教育環境(私立学校の有無)に関する質問が多く、年中暖かい、海がきれい、子育てしやすいなどの意見がよく聞かれました。

## 目次

沖縄移住相談会(島ぐらし編) & JOIN移住・交流フェアへ出展	1
受託事業者より一言	2
移住・定住促進への取組み @ 竹富町	2
移住者の声	2
ひと紹介コーナー	2

### ○今後の予定○

【おきなわ移住相談会、移住フェア】

- 2月11日(土)  
東京国際フォーラム 4階
- 2月12日(日)  
東京国際フォーラム E1ホール

【移住体験ツアー】

- 2月17日～19日 宮古島市
  - 2月24日～26日 石垣市
- 【沖縄県移住受入協議会】
- 3月27日(月)

# 受託事業者より一言 特定非営利活動法人100万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター 副事務局長 嵩 和雄(かさみ かずお)

沖縄県の移住促進事業を担当して今年度で3年目になります、NPO ふるさと回帰支援センターの嵩和雄です。

ふるさと回帰支援センターでは全国の移住相談を行ってききましたが、ようやく昨年7月から沖縄県の情報ブースが設置されました。人気のある沖縄県ですが、まだまだ自治体からの情報が足りないところです。センターには全国から毎週のように魅力的な移住パンフレットやチラシが届きます。

地域の魅力はそれぞれ持っていますが、移住希望者に届くかどうか。最近では金品などの支援策ではなく、その地域ならではのライフスタイルを見せる方向にシフトしつつあります。

全国の自治体が切磋琢磨している最前線から皆さん方のサポートをしていきたいと思えます。これからもよろしくお願いたします。



## 移住・定住促進への取組み@竹富町

平成27年度に「竹富町人口ビジョン」を策定し、2060年までに目標人口5,000人を掲げ、遅まきながら移住定住促進を目的とする各種施策が始まりました。

そのなかでも特徴的な取り組みとして、職種の乏しさと所得の改善を図るため、インターネットを活用した就業支援を行っています。現代のIT技術があれば都市部と遜色ない業務遂行が可能であり、このシステムこそ全国離島過疎地の活路になると信じています。具体的には、業務受注の為の実践的なIT講座を開催し、修了者には都市部企業からの就業案内を行います。受注量を安定化させるためにIT企業との業務協定も予定しており、またサテライトオフィスとして一部業務の受け入れも推進します。同時に移住相談会に参加し、ITスキルを有する移住希望者を募集しています(もちろん、そうでない方の移住案内も行っています)。

日本最南端の大自然は、リゾートとはかけ離れた厳しい生活環境であります。自分らしい生き方を送りたい人は、竹富町移住相談窓口までご連絡下さい。



かたひら よしのり

## 移住者の声 ぱいぬしまシェア 管理者/現地コーディネーター 片平 宣統

日本最南端の町(竹富町)という離島遠隔地でもIT技術を活用することで都市部と遜色のない業務遂行が可能となれば移住者が増えるのではないかと。また、離島でネットを使った新規ビジネスの創出が出来れば、所得の向上が実現し島を離れる方が減るのではないかと。この2つのテーマを実現するため自らがテストケースとなり、ITビジネスの可能性を見出そうと昨年初め千葉県から竹富町西表島に移住致しました。

現在、町民が無料で使えるインターネットスペース兼シェアオフィスの「ぱいぬしまシェア」の管理人を行っています。地域との繋がりの中から私自身パソコンを活用した事務業務を依頼され、離島地域でのPC業務人材の必要性を肌で感じております。また、シェアオフィスを媒介としたオフラインの繋がりも増え、多目的の情報発信、収集の場としての役割が広がっております。

今後もITを活用した島民の情報発信の場、地域の集まりの場、雇用創出のお手伝いの場としてお役に立てればと日々努力をしております。



## “ひと紹介コーナー” 大富公民館長・区長、大富共同売店組合長・竹富町社会教育委員 山城 まゆみ

東京から旅のつもりで訪れた西表島で農家の嫁になって22年目。祭りも冠婚葬祭も皆で手作りする島暮らしで、都会の個の価値観から共に生きる共同体の価値観に開眼。温かく迎え入れ見守ってくれたおじいおばあに恩返しのため大富公民館長・区長と、地域の共同売店の組合長を務めている。開拓集落の「和衷協力」の心とその心から生まれた共同売店を残したいと願い、助成金を活用して売店にイートインスペースを作るとともに、公民館の調理場で菓子総菜製造、農産物加工の許可を取得。特産品「大富むん(物)」作りに取組んでいる。

島で映画が観たければ自分で上映会を、学びたければワークショップを、音楽フェスも自分たちで企画する。同じように自分が暮らしたいと思う地域も自分たちで作れる。受け身でいられた大都会より楽ではないが、島暮らしはクリエイティブで、でーじ楽しい！

